

デザインワークショップ

企業経営におけるデザインとは？

吉田道生 + 平田智彦

2016年2月10日(水) 18:00-20:00 (終了後, 懇親会)

@キャンパスプラザ京都5階 第2・第3演習室

<http://www.consortium.or.jp/about-cp-kyoto/access>

近年デザインは経営にとって避けることができないテーマですが、実際にどのように生かすのかについては手探りの状態が続いています。本イベントでは、デザインを企業経営の中核に据えた韓サムソンの取り組みを間近で支えてきた吉田道生氏、世界的なデザインファームであり、製造業は勿論、銀行を始めとするさまざまな企業をクライアントとしてもつ ziba の平田智彦氏をお招きします。デザイナーでない経営者や管理職が、どのようにデザイナーと付き合い、どのようにコミュニケーションすればいいか、そして、自らのビジネスにどのようなインパクトを与えるか、について議論します。

講演者の声：



吉田道夫(よしだ・みちお)

32年間、成長期にあったキャノンとサムスン電子で商品開発に携わってきました。特に2000年にデザイン経営によって市場を急激に拡大させてきたサムスン電子に転職し、新たな市場を開拓していく商品を開発するために、事業トップの役員とともに、市場把握の調査からコンセプトの立案、試作を何度も何度も繰り返してのデザイン案の作成、それを着実に製品化していくという、広い意味でのデザインの様々な業務に携わってきました。これからもこうした体験を活かしてデザインをうまく使い新たな価値の創造に挑戦していきたいと思っています。



平田智彦(ひらた・ともひこ)

ブランドと顧客の、「共感」をデザインする。ライフスタイルが多様化し社会が成熟してくると、従来のセグメントのマーケティングでは、この「共感要素」の発見は難しくなります。更に、技術やチャネルが急速に変化する市場に於いて、モノに依存する展開には限界があります。デザインの領域は、経営やサービスをもその範疇として消費行動を牽引していく必要が生じています。私が所属する ziba グループでは、ライフスタイルとブランドとの多角的なタッチポイントを抽出して、時間の経緯に順応する、顧客に対する「Authentic Experiences (相応しい経験)」の創出をクライアントとの協働で実践してきました。また東京サイトでは、2012年からトレンドリサーチを始め、社会の変遷と人の感情との関連を探求し、新しい価値の予測を行っています。

申込方法：<http://goo.gl/forms/u7cMVOSqHj>よりお申し込みください。

主催：京都大学デザインスクール / 協賛：デザインイノベーションコンソーシアム

運営：京都大学デザインスクール 寺田知太・山内 裕

問合せ：山内 裕 (yamauchi@gsm.kyoto-u.ac.jp)